



学校図書館を
充実・活用するためのモデル校

茨木市立葦原小学校

学校紹介

○沿革

昭和49年玉櫛小学校の一部と玉島小学校の一部を分離して設立

○児童数

668名 24学級（うち支援学級6学級）

○教育目標

知育・徳育・体育の調和のとれた たくましい子どもの育成

○目指す子ども像

◎自立・・・自尊感情を持ち夢を育む子

◎共生・・・全ての人と手をつなげる子

◎創造・・・自らの考えを築き行動できる子



本に親しむための具体例

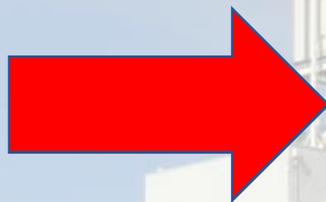
○貸し出し冊数を1冊→2冊へ

貸し出し1冊

迷路だけ



図鑑だけ



貸し出し2冊



絵本や小説など
読み物を1冊借
りる



本に親しむための具体例

○様々な本との出会い

おすすめ展示



図書ボランティアさんとの連携



題名しりとり

出会いの偶然性



本に親しむための具体例

○様々な本との出会い

詩の掲示



読み聞かせ



本に親しむための具体例

○学習に関連した本との出会い

廊下への配架



ブックトーク



本に親しむための具体例

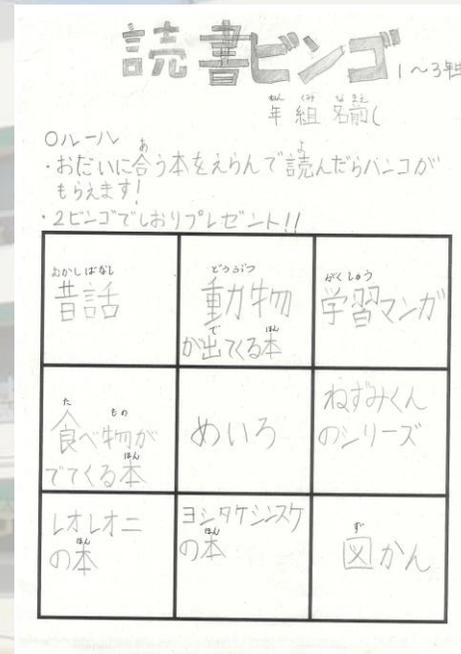
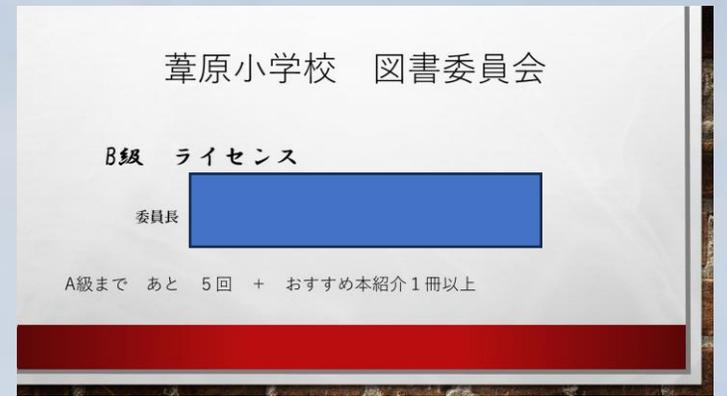
○読書週間の取り組み

教科書教材
筆者の紹介

読書郵便
(昨年度)

読書ビンゴ

読書福袋

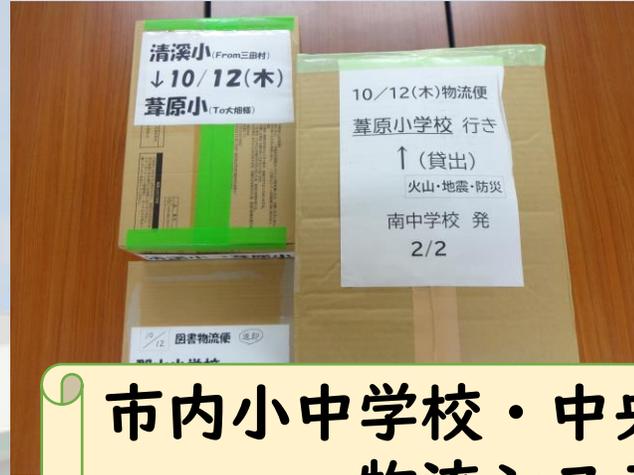


学校図書館を活用した授業づくり

○蔵書の充実・地域との連携



新規購入図書を選書



市内小中学校・中央図書館との
物流システム



学校図書館を活用した授業づくり

○図書を活用した自分の問いづくり



本を読んで、学んだことを書きましょう。

ごみについて	水について
ごみは、全てリサイクルでき おけるわけではない。リサイクル しる事に方法が「ちがう」。 ペットボトルはいろいろな ものにリサイクルできる。	水が「使える水は、ほんの ちょっとしかない。地球は は、もともと水が「なかつた」。 使った水は下水道で「また きれいになり、また使われ

疑問に思ったこと、調べてみたいことを書きましょう。

ごみについて	水について
なぜ、リサイクルの方法が「 たくさんあるのだろうか。 なぜ、ペットボトルはいろ んなものにリサイクル できるのだろうか。	なぜ、地球上に水が「 たくさんのお水になったの だろうか。し、 なぜ、しょっぱくない水が 少ししかないのだろうか。

ふりかえり

よくできた
本を読んで新たに知ったり、疑問を持ちました。(5 4 3 2 1)

けんこうなくらしについて調べたいことができた。(5 4 3 2 1)

友だちに学んだことを伝えることができた。(5 4 3 2 1)

ごみの少ない社会を目指して
～自分たちにできること～
4年 組 番 名前 ()

最終処分場を守る

最終処分場はどうしても処分できな
いごみがのこるから必要ですが、あと20年
でなくなるかもしれません。そしたら、
新しく作るために日本で「山や海など」
の自然が「こわれてしまいます。なので、
また「使える物はすてないでください。」

参考図書 本の題名(出版社)
なぜ「?」から言周るごみとかんきょう③せいそう工場(Gakkei)
言周るごみとけい⑤ (小峰書店)

学校図書館を活用した授業づくり

○図書を活用した言語活動の充実

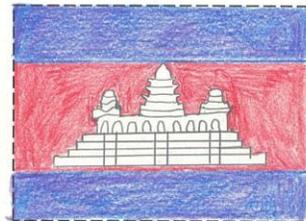
教師モデルの提示

外国の小学校のいいところを見つけよう

2年 () 組 名前 ()

国の名前

カンボジア



休み時間に出みせでかいものができます。

文ぼうぐだけでなく、おかしやきせつのかだもの

かきごおり、サンドイッチなどのたべものをかえます。

戦争・平和をテーマにした本をしょうかいしよう。

年 組 名前 ()

あずかった希望



あらすじ・おすすめする理由

このお話は海軍の航空兵にあこがれた少年が、戦争に参加するお話です。戦争中に多くの仲間を失ってしまう主人公が生きる意味について考えています。命の大切さについて考えられるのでおすすめです。

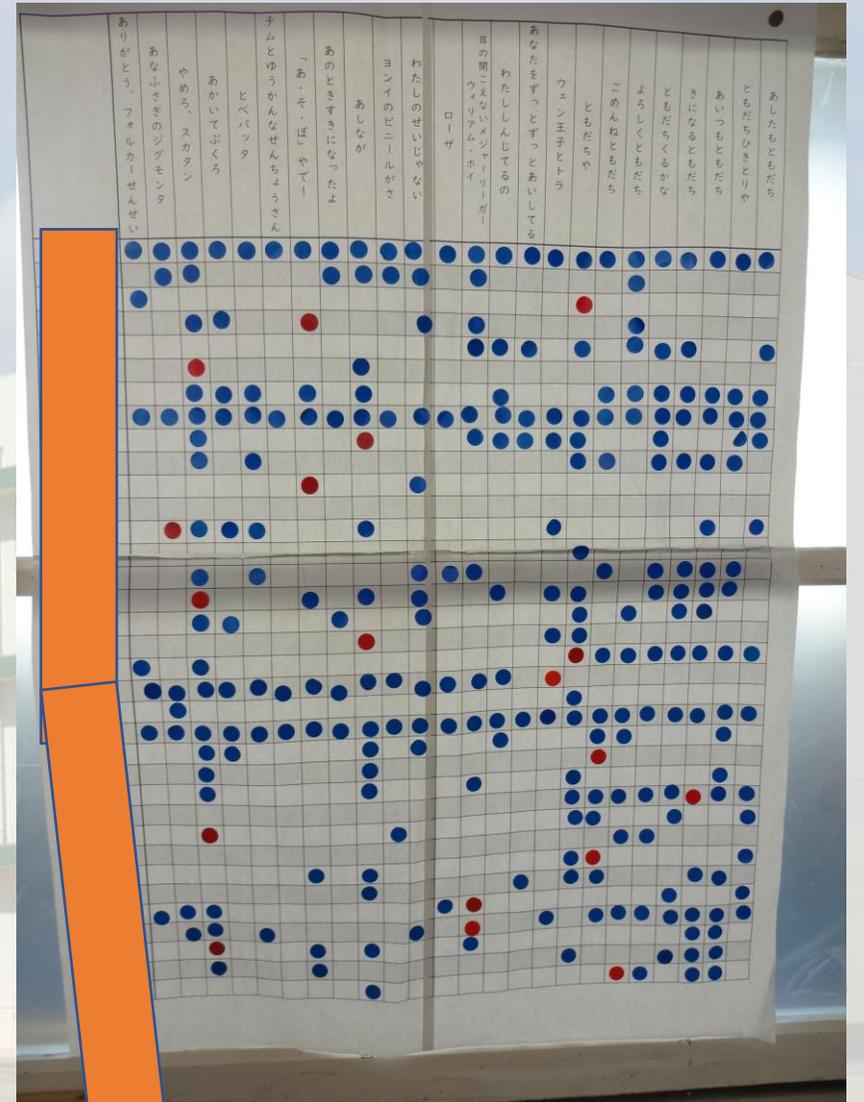
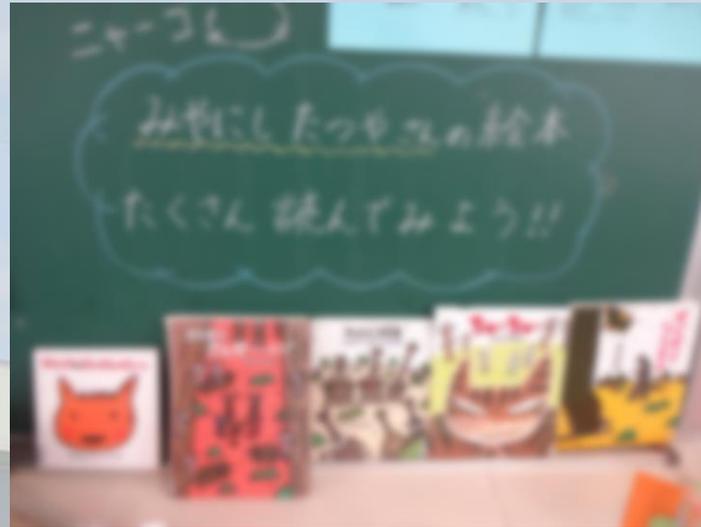
この本を読むあなたに伝えたいこと

戦争では簡単に人の命がうばわれてしまいます。命の大切さ、まわりの友だちの大切さ、平和の大切さについて考えながら読んでほしいです。

学校図書館を活用した授業づくり

○図書を活用した言語活動の充実

並行読書の推進



学校図書館を活用した授業づくり

○学力通信「つながり」を通じた実践の共有

学力通信
つながり
茨木市立葦原小学校
令和5年5月19日(金)
No.3
発行者:大畑 健介

5年生「動物たちが教えてくれる海の中の暮らし」

先日、5年1組が「動物たちが教えてくれる海の中の暮らし」の単元のまとめに図書室を訪れてくれました。「海の中に住む動物のすていところを見つけよう」という目的のもと、タブレットと図書を併用した調べ学習を行いました。子どもたちの素敵な学びを伝えさせていただきます。



タブレットと図書の割合は3:7くらいでした。想定より図書を選ぶ子が多いためと感じました。



何度も本を入れ替えながらたくさんの本に出合っていました。こういう機会だからこそ出合うことができた本もあったと思います。



最初から最後まで一生懸命学んでいた子どもたちでしたが、学びの空気が一段と高まった瞬間がありました。それは、担任の柳生先生の一言。**「本の写真を中心に写っている子が多いけど、文に注目するんやで。文の中からすていところを見つけよう。」**この一言を聞いた瞬間、子どもたちの本を読む視点が変わりました。視点を変える一言で大切ですね。勉強になりました！

読み切れなかった部分、印象に残った部分は写真に取って残していました。

学力通信
つながり
茨木市立葦原小学校
令和5年5月25日(木)
No.4
発行者:大畑 健介

4年生「けんこうなくらしをささえる」

先日、4年生で「けんこうなくらしをささえる」の単元の導入を行いました。ごみや水の学習を進める前に、「学んだことや疑問や調べたいことを見つける」という目的のもと、関連本を読んでワークシートにまとめました。子どもたちならではの視点で疑問を見つけたり、印象に残ったところを友だちに伝えたりしていました。今後の学習を主体的に学んでいく一つのきっかけになってくれると嬉しく思います。



普段はなかなか読むことがないような水やゴミに関連する本。たくさん子どもたちが意欲的に読んでくれていました。「へえー」「これすごい！見て」「そうやったんや」子どもたちから漏れてくる言葉に主体的で対話的な学びを感じることができました。



活動に自由度を持たせつつ、自分が興味を持ったことを伝えたいと思ったときに伝える。そんなタイムリーさが交流を活発にしているように感じました。



担任の先生方は、たくさん子どもたちに声をかけてくれています。本選びに迷っている子、注目ポイントを絞り切れていない子、集中が切れてしまった子...など子どもたちの実態に合わせて寄り添っていただいたことで、より充実した時間になりました。ありがとうございます。

今回の授業で子どもたちから出てきた疑問は、教室掲示の表として作成し、疑問が解決できたらシールを貼るようにしています。(裏面参照)シールを貼ることで、意欲の向上につながったり、友だちの学び姿に感化されたり...といった効果を期待しています。

黙々と読み進め、その後の休み時間にも読んでいた子もいたそうです。

学力通信
つながり
茨木市立葦原小学校
令和5年9月20日(水)
No.5
発行者:大畑 健介

1年生「〇〇のいえをつくろう」

1年生で「100かいだてのいえ」をモチーフに図工の学習を行いました。「100かいだてシリーズ」の読み聞かせを導入し、自分が描きたいテーマを動物・鳥・水の生き物・虫・食べ物の本を活用しながら選びました。本に書かれている情報から好きな遊びや好きな色・住んでいるところなどの想像を広げ、創作活動につなげていました。友だちの作品を鑑賞する場面では、自分が住んでみたい家を発表していました。



机ごとにテーマを分け、自由に本を読む活動を取り入れました。一つの机にとどまる子、全ての机を回る子と様々でした。時間内に決めきれなかった子の為に、使用した本は廊下に配架しました。



教師のモデルを作成することで、子どもたちにとっても見通しが持て、活動に困りにくくなっているようでした。



絵本を題材にすることで場面のイメージが具体化され、意欲の向上だけでなく想像の広がりが高まっていたように感じました。本を活用してテーマを決めることで、想像を広げるヒントになるパーツが散りばめられていて、多様な表現が見られました。「おにぎりだからお弁当に住んでいる」「カブトムシだから木に登って」など子どもたちがつぶやきながら、また、担任の先生がつぶやきを捨てて広げながら活動を進めていました。子どもたちの作品をつなげたときにはその長さから「おお〜」と驚きの声も上がっていました。



100かいだてシリーズはその後大人気で、図書室では品切れ状態です...

児童の変容

学校図書館の貸出冊数（児童）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (9月末時点)
総数	14,216	23,298	11,642
9類（文学） E（絵本）	8,886 (62.5%)	15,324 (65.7%)	7,558 (64.9%)
0類～8類	5,330 (37.5%)	7,974 (34.3%)	4,084 (35.1%)

教職員の変容

学校図書館の貸出冊数（教職員）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (9月末時点)
総数	777	2,341	1,311

手段の目的化
からの脱却

図書館を活用して
授業をする

つきたい力を育むために
図書館を活用する

各学年の取組み



1年生

サラダでげんき

つけたい力

C 読むことにおいて場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉える力。

言語活動

お母さんが元気になるために サラダのもう一品をおすすめする



入れると、
はだかきれいになる
からです。かぜをひき
にくくなるからです。
ほしのかたちか
がわいりです。

グループは
ミドリ
です。

入れるもの
おくら

④ サラダに入れるものをかえよう。

サラダでげんき

なまえ



入れるとほねや、つめがつよくな
るからです。かみやはだがつ
やつやになるからです。かとり
だをおおきくするからで
す。

グループは
あか
です。

入れるもの
コーン、かたや

④ サラダに入れるものをかえよう。

サラダでげんき

なまえ



入れると、
げんき、からだをうながせる
から。しかりかえれるフ
とがアキ、ろけ

グループは
キいろ
です。

入れるもの
アマイモ

④ サラダに入れるものをかえよう。

サラダでげんき

なまえ

2年生

ビーバーの大工事

つけたい力

「読むこと」において、重要な語や文を考えて選び出す力。

言語活動

動物のすごいところを 「ココスゴ！カード」で紹介する

⑦
⑥
⑤
④
③
②
①

②
ココスゴ！カード
ミレーアキヤット
はすごい。

そだちのがはやくてすごい

ミレーアキヤットは、生まれて
6か月くらいで、おとなとほし
んどおなじ大きさになる。そだち
ます。生まれてから1年がたつこ
ろには、メスのミレーアキヤットは
赤ちゃんをうむこともできる
のです。

発見者



②
ココスゴ！カード
ぞう
はすごい。

のむ水のりょうがすごい。

ぞうは1日に百リット
ルも水をのみます。
百リットルは牛乳びん五
百本ぶんのりょうです。

発見者



3年生

サーカスのライオン

つけたい力

「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像する力

4年生

くらしとごみのしまつ

つけたい力

ごみ処理の仕組みや再利用等について学び、学んだことからごみを減らすために自分たちにできることを考える力。

言語活動

ごみを減らすために
自分たちにできることをポスターで表す。

ごみの少ない社会を目指して
～自分たちにできること～
4年 [redacted])

リサイクルをやってみよう

リサイクルは、まずかん、びん、ペットボトル
ギョウに、うパックトレに分けます。
そして、ペットボトルはいろいろ分けれます。
それは、ネクタイ、生服、バッグいろいろです。
さいごに、リサイクルするために、
キャップとラベルをはずそう!

参考図書 本の題名 (出版社)
リサイクル施設 リブリオ出版社

ごみの少ない社会を目指して
～自分たちにできること～
4年 [redacted])

ものを大切に

リユースをするためには、物を大事
にしなければいけません。よこれて
いたり、こわれていたりするとごみにな
るので、ごみがふえてしまいます。
ごみをへらすために、できるだけ、
物をこわしたりしないようにしたいです。

参考図書 本の題名 (出版社)
ごみゼロ大作戦 田 リユース

ごみの少ない社会を目指して
～自分たちにできること～
4年 [redacted])

リデュース (ごみを出さない減らす)
の取り組み

リデュースとは、ごみを減らすことです。例
えば、レジ袋ではなく、エコバックを使う
ことなど。家庭ではどんな取り組みが
できるでしょうか？例えば料理などは
食べきれぬ分だけ入れ食品ロスをしないこと。
なので、長く使える物を選び大切に使う!!

参考図書 本の題名 (出版社)
Reduce リデュース...株式会社あかね書房

5年生

注文の多い料理店

つけたい力

物語を面白くしている表現の仕方や工夫を見つけ、面白さを解説する文章を書く力。

6年生

平和学習

つけたい力

戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えを深め、これまでに学んできたことをもとに自分の考えを表現する力。

言語活動

絵本の紹介を通して、 下級生に「平和の大切さ・戦争の恐ろしさ」を伝える

戦争・平和をテーマにした本をしょうかいしよう。

6年



あらすじ・おすすめする理由

1944年夏の終わりのこと。山がくまりと見える。もう秋だなあ。加藤亮則は、着くすんだ空を見上げながらつぶやきました。一番上の兄は出せしめてあげた。まはがそのころは戦争の感いる事のないのどな2学期の始まりだった。この本は人しなく動物の命を守ったのがいいと思ってお勧めしました。

この本を読むあなたに伝えたいこと
戦争でなくなるのは、人の命、幸せだけでなく、動物の命までなくなるということが戦争のおそろしさ。

戦争・平和をテーマにした本をしょうかいしよう。

6年



あらすじ・おすすめする理由

このお話は1945年8月6日広島市の街に原子爆弾が落され、建物をこわす作業にでかけたまましげると言う男の子が二度と帰ってこず、原爆資料館にある弁当箱に、ひめられたかなしのお話です。

この本を読むあなたに伝えたいこと

この戦争でたくさんの物や人々がこわされ、亡くなりました。だからこんな事がこの先、ないようと言葉持ちて読んでみてくださいくださいね。